

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年4月9日(火) NO1 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

人の成長は目には見えないけど

339名の新入生の皆様ご入学おめでとうございます。素晴らしい3年間となりますように一緒に頑張りましょう。さて、平成から令和になり5年が経過しました。平成は戦争がなかったものの自然災害が多く、嫌というほど命の尊さを知らされました。令和は変革の時代です。学校ではエアコン整備、タブレットの導入、トイレの洋式化等、昔では考えられなかったことが当たり前になりつつあります。学校は校則をはじめ、今後大きな変化を遂げると思います。また、法務省は4月から刑務所の受刑者を「さん付け」することにしました。我々教師を含め、生徒も大人も人権感覚をもう一度見つめ直し、これまでの当たり前を改める必要があると思います。さて、定期異動で職員構成も変わり新たな気持ちで新年度を迎えています。新3年生は昨年度卒業式に参加し、式の厳粛さと卒業生の凛とした態度に感銘を受けました。そして今、学校の看板として生活をしています。人の成長は数値化できないので、どれくらい成長しているのかは目には見えません。しかし、我々が成長のよりどころとしてしていること。一つは話を聞くときのまなざしです。心と体が成長した生徒は、説諭をして聞かせる時の目が違います。そんな時我々の話が魂に入っていると感ずることが出来ます。怒ってばかりでは心に響かない。できたことは賞賛し、できないことは指導を繰り返す。こういう丁寧な指導をしていきたいと思っています。私はこの学校で人をダメにするコトバ「ウザイ、キモイ、消えろ、死ね、むかつく」を無くそうと生徒にアプローチし続けています。残念ながらこの言葉は完全に消えていませんが、風向きが変わったことは感じています。生徒の様子を見ていて、今年は少し変化があることを期待しています。昨日8日に新任式・始業式がありました。新しく着任された先生を出迎える生徒の手拍子。そして、学年職員・部活動顧問紹介の時の生徒の興味津々の表情と盛大なる拍手。心優しく素直な生徒に囲まれて、今年一年頑張ろうと思った職員はたくさんいると思います。全校生徒980名となりました。今年度も職員一同邁進してまいります。保護者の皆様よろしくお願ひします。

